

第2学期 感謝する子（美しいものを発見する生活）

第3期（9月～10月）みんな一緒に

第4期（11月～12月）感謝をよろこぶ子どもたち

*たくさんの人たちからのお世話や自然の恵みによって守られていることを知り、心から感謝することの大切さとすばらしさを身に付ける

造形コーナー：様々なところでハロウィンの話題が出てきた10月、こどものもりでもファッションショーに向けての衣装づくりが始まりました。

何になりたいか、どう作ったら良いかお家の方とも話し、資料を探して持ってきてもらいました。ご協力ありがとうございました。子どもたちはどの子もその資料を本当に大切に持ちながら、細かい所まで考えて自分の力で作りあげていました。特に、年長児は、より本物に近づかせようと試行錯誤して、じっくりと時間をかけ、なんと一週間かけて完成させた子もいました。

時間をかけて作り上げたからこそ、年中少児が作り始めた時には、年長児が誰一人として嫌な顔せず丁寧に教えてくれている姿がありました。

ファッションショー当日は、どの子もなりきってポーズを決め、満足感・充実感でいっぱい表情がとても印象的でした。

11月には、七五三の飴袋に、廃材や様々な形に切ったさつまいもを使ってスタンプングをして、自分の飴袋を作り上げ、当日には雨のいった袋を持ち帰り、きつとご家庭で見せていたことと思います。

12月に入ると、感謝の会で持ってきてくださった野菜を使っての野菜のスタンプングも盛り上がりしました。

ピーマンやオクラ、セロリや小松菜・キャベツの芯とたくさんの種類を出すことで、出てきた模様を見て何度も押すことを楽しんでいました。自分で考えて組み合わせたオリジナリティーあふれる模様が素敵でした！その綺麗な野菜スタンプは、募金箱に使っていますので、ぜひ子どもたちに聞いてみてください！



「ポンプロケットが作りたい！」と工作の本を見ながら頑張って作っていた、たんぼぼさんの男の子。その姿を見て「それ作ったことがあるんだけどもう一回作ってみよう」と隣で作り始めたすみれさんの男の子。同じ本を見ながら先に作り始めたたんぼぼさんが「こうやるんだよ」と教えてあげ、だいたい同じところまで作れた二人でした。次にたんぼぼさんが牛乳パックでポンプを作ったのですが上手く空気がおくれずロケットが跳びませんでした。「なんでできないのかな・・・」と再度挑戦していると、「こうやるといいよ」「ここが難しいんだよ」と一回作った経験を生かしながすみれさんが教えてくれ、完成できたたんぼぼさんもとても満足そうな表情をしてました。お互い教え合い、協力して作る姿に異年齢保育の良さを改めて感じました。

クッキングコーナーが始まると、ちゅうりっぷのNちゃんは手を洗って「わたしもやりたい！」と意思表示。小さい子が「やりたい！」と来ると大きい子は「こうするんだよ」と優しく手を添えて教えてくれます。お庭に実った果物を大きい子が拾っているのを見て、りんごや栗を「あったよ！」と持ってきてくれるこすもすさんもありました。おいもほりの後、たらいの水でおいもを洗いながら、「おうちでおいも食べたよ～」「うちはいもけんび！」「うちはやきいも！」とさくらさん、たんぼぼさん。「調理の先生にサラダ油をもらってきてくれる？」とお願いすると、「サラダ油、サラダ油・・・」と復唱しながら伝え、そーっと運んでくれるすみれさん。

それぞれの年齢なりに自分ができるお手伝いをみつけて参加しようとする姿に、毎日ほっこり♥させられます。



クッキングコーナー：3・4期は、姫リンゴ、柿、栗、おいも堀りで掘ったさつまいも、感謝の会でお家からいただいた果物を使ったクッキングを楽しみました。メニューは子ども達と相談し、りんごはジャム・アップルパイ・りんごあめ、柿は柿プリン・干し柿、栗は茹でてホットケーキにのせたり、さつまいもは焼き芋・りんごと煮たりして味わいました。

「今日のメニューは何？」「今日もランチで食べられる？」「昨日の美味しかったからお手伝いしたい！」と沢山の子どもたちがクッキングコーナーへ興味を持ちお手伝いに来たり、見に来たりする姿が見られます。野菜や果物を調理する中で包丁やピーラーにもチャレンジ！初めは「ちょっと怖い・・・」と恐る恐る挑戦していた子も、上手に切れて「出来た！やった！」と成功体験に繋がっていました。

すみれさんは、『できたよのーと』をきっかけにお手伝いしようとする姿も多く見られました。そんな姿を見て小さいお友達も興味を持ち、果物を洗ったり、「包丁やってみたい！」と挑戦する姿もありました。料理が完成するとお手伝いしてくれたお友達と味見をし、「美味しい～！」と自然と笑みが溢れます。「みんなに食べてもらおうね♪」「ランチで出してください！」と調理の先生にお願いし、「上手にできたね」とほめられてニコニコ。

ランチタイムでみんなに配る時にはお手伝いしてくれたお友だちを紹介しています。みんなから拍手をもらい「おいしかったよ！」とお礼を言われると照れた顔で達成感を味わい、また「やってみよう！」とする子どもたちです。毎日美味しい料理を作ってくれる調理の先生やお家の人へ、感謝の気持ちを感じながら、食べることへの楽しみがより深まっています。日に日に寒さが増してきていますが、今後ももっと一息できるようなみんなが味わえる温かいメニューを子ども達と考えていきたいと思っています。

自然のコーナー：今年の秋はどんぐりが沢山実り、「こんなにたくさん見つけたよ！」「丸いどんぐりもあったよ！」など、子どもたちはカップいっぱいになるほど毎日どんぐり拾いを楽しんでいました。拾った物はきれいな物、割れている物に分けるお手伝いも行ってくれました。その他にひめりんごも沢山実り、数珠玉などの木の実を集めカップに飾り付けをし、木の実のケーキ作りを楽しみました。

秋が深まってくると、「先生見つけたよ～！」と黄色や赤、オレンジ色に紅葉したイチヨウやもみじなどのきれいな葉っぱを集めてくれました。集めた落ち葉は紙皿に飾りリースを作ったり落ち葉の花束作りなど、秋ならではの遊びを楽しみました。

子どもたちにとってこどものもりの自然は物作りが出来る素敵な材料であり、感性が豊かに育つ環境であると感じました。

12月に入ると、クリスマスツリーやリース、オーナメント作りが盛り上がりしました。毛糸やスパンコール、ゴールドクレストや木の実を飾って素敵な作品が沢山出来ました。畑では先月まいた冬野菜が少しずつ育ってきています。

また、チューリップの球根も植えました。これから子どもたちと水やりをし、花や野菜の成長を楽しみにしていきたいです。これから寒い冬ですが、冬ならではの遊びを楽しみながら感動体験を沢山していきたいと思っています。



今年もいちょうの葉が黄色く染まり子どもたちの中から「葉っぱのシャワーがやりたい！」と、リクエストがありました。最初はどの子もひとりで黙々と葉っぱを集めていました。もう一回やってみようと言うことで2回3回とやりましたが1回目とは違い何人かの友だちと葉っぱを協力して集め、持つ姿がありました。「3.2.1！」の声に合わせ、いちょうの葉っぱが舞い上がると共に「うわー！」と言う歓声があがりました。友だちと協力してやることの楽しさを沢山感じる事ができました。これからも季節ならではの遊びを楽しみたいと思います。